


カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																					
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
																										
18	□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	エコアクション21の認証を受けている。			3.9				6	7							12	13.3	14	15				
19	□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	HPで環境の取り組みを公開している。																12.6						
20	□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】グリーン電力の利用を心掛けていきたい。									7.2									13				
21	□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】天然資源利用が必要な際には取り入れたい。																	12.2	13	14	15		
22	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	税理士法に抵触しないように事務所内教育にて周知している。																						16 16.5
23	□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	税理士法に抵触しないように事務所内教育にて周知している。																						16
24	□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	当事務所においての知的財産権は所有していないが、クライアントの取得している知的財産権の管理等について、定期的に確認している。										8.2 8.3	9											
25	□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報・特定個人情報保護規程を設け、手順に従って処理を行っている。 個人情報保護法ハンドブックを活用しながら職員に再認識を促している。																						16
26	□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	取り扱っていない。																						16
27	□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	クライアントとともに、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応に取り組んでいる。					5				8		10					12	13	14	15	16	17	
28	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	チェックシート(監査報告書)を活用しながら、高度のサービスを提供している。			3.9														12.4					
29	□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	チェックシート(監査報告書)を活用しながら、高度のサービスを提供している。											9											
30	□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	製品の開発・設計は行っていない。							6										12	13	14	15		
31	□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	社会課題となっているテーマをクライアントに情報提供し、その対応の支援をしている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
32	□	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	地域に根差した事業展開をし、門戸を開きながら多くの相談に応じている。				4					9		11	12		14	15	17		
33	□	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	インターンシップの積極的な受け入れをしている。様々な分野の審議会に出席し、提言をしている。定期的に無料相談、セミナーを開催している。				4							11				14	15	17	
34	□	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	クライアントの商製品等を利用することにより、地消地産を心掛けている。									8	9		11	12	13				
35	□	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	毎年経営者が経営目標を職員に説明し共有している。									8	9							17	
36	□	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	コンプライアンス教育を行い、特に税理士法に抵触しないように学習を繰り返している。																	16	
37	□	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	各分野において担当者を定め、責任を持って対応している。																	16	
38	□	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	適宜クライアントとの面談により、必要な周知を行っている。																	16	17
39	□	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	リスク対策についての情報を定期的に収集し、必要なことは適宜対処している。																		16
40	□	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	クライアントに対し『企業の発展と正しい納税』の意識改革を行い、各クライアントに優良法人の認定を目指して助言している。																		16
41	□	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	BCPを策定してある。										9		11		13	13.1		16	
42	□	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	5年以内の事業承継を予定しており、確実に準備を進めている。またクライアントの事業承継も支援し、事業承継税制等の活用も検討している。									8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）